

NPO法人 相馬フォロアーチーム ニュースレター*12月号*

2016年度

Vol. 06

発行日 平成28年12月1日



車のフロントガラスが白くなっている日もできて、冬を感じさせる寒さがやってきたように思います。相馬市の小・中学校では、秋の行事も終わり、行事の達成感とともに、ひとり回り成長した子どもたちの姿を見せています。ニュースレター12月号では、『第57回相馬・新地地区小・中学校音楽祭』、『プール学院との交流』、『新スタッフの紹介』『スタッフのコラム』などについてお伝えします。



▷ 第57回相馬・新地地区小・中学校音楽祭

第57回相馬・新地地区小・中学校音楽祭が相馬市民会館で開催されました。この音楽祭は、新地町と相馬市内の小中学校生が日頃の練習の成果を発表し合う伝統ある音楽行事です。動きの入った演奏を取り入れたり、頭にバンダナを巻いたりするなど、それぞれに工夫を凝らし、夏休み前後から練習してきた成果を精一杯発表していました。指導されたある先生の話では、本番直前まで、演奏がなかなか揃わなかったようですが、本番では見事にやりきっていたのが印象的だったということでした。演奏後に子どもたちに感想を聞くと、演奏の点数は100点という子が多く、実りの多い音楽祭になったようでした。



会場の相馬市民会館。
この日はきれいな快晴でした。



準備してホール前で待機中。
まもなく本番。ドキドキするな……。



本番では練習成果を出し切るように演奏しました。



▷ プール学院との交流会



10月19日、磯部中学校では、福島英語キャンプで福島県に訪れていたプール学院（大阪府）の中学3年生が訪問し交流を持ちました。

交流会では、プール学院の生徒代表が事前に読まれた震災に関する本の感想文の発表を行いました。その後、磯部中学校とプール学院の生徒がランダムに割り振られたチーム対抗で、福島一大阪クイズや大縄跳び大会といったゲームを行いました。最後に磯部中学校の生徒らは、訪問を歓迎して磯部中ソーラン節を披露しました。最初は緊張した面持ちの生徒たちでしたが、交流を通して徐々に笑顔が見られ、最後には別れを惜しむようにプール学院の生徒たちを見送りました。

2011年の震災をきっかけにつながりを持った2つの中学校。この交流会を経て、2校の絆がますます深まっていくことと思います。相馬フォロアーチームは、今後も2校の絆を見守っていきたいと思っています。



大縄跳び大会。何回跳べたかな？



バスを見送る磯部中学校の生徒

▷新スタッフの紹介



齊藤 玲子(さいとうれいこ)

出身地：群馬県前橋市

趣味：バトミントン。工作(子どもと一緒に色々なものを作る)

ひと言：この度、相馬フォロアーチームの事務員としてお世話になることになりました。縁あって群馬県から相馬市へ嫁いで11年になります。すっかり、相馬にも慣れ“相馬弁”もだいぶ分かるようになってきました！相馬には『んだべした〜』『つかっちゃ〜』『あやまったな〜』など、他の言葉では言い表せない、方言でしかピッタリこない言葉がたくさんあります。とても温かい土地柄を感じます。私の子ども達も日に日に方言を使うようになりました。私も二児の母として、相馬での子どもの成長や心のケアはとても大切だと感じています。これから、事務員としてではありますが、子ども達のことを真剣に考えているカウンセラーを陰ながらサポートしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



▷スタッフのコラム(No.5)

防災の観点



出勤すると、ほぼ毎日、事務局長が新聞の記事やコラムをピックアップしてスタッフひとりひとりに配付してくれます。その中のある記事に感慨深いものがありました。



あるご家族の話…お祖母さんと5歳になるお孫さんがことわざかるたをしていた時のことです。お孫さんが読み手で初めてかるたを読んだ時に、「備えあれば“うれしいなし”」を「備えあれば“うれしいな”」と間違っ読んだという内容でした。しかしそれは間違いではなく、備えておくことが大切だねと家族で再確認したとのことでした。



先日、磯部中学校とプール学院の交流会に参加する機会をいただきました。ある生徒は、震災関連書籍の感想文で、「これからは次に生まれる悲しみが少しでも小さな悲しみになるように準備していかなければならない」といった内容を発表しました。この言葉がずしりと響きました。そして昨年11月に相馬市民会館で開催された「ふるさと相馬子ども復興会議」では、相馬市内の各小・中学校で行われた防災への取り組みや、活動を通して安心・安全に暮らしていくにはどうしたらいいのかといった考察がなされました。

私の中で、この3つの出来事がリンクしました。次に起こる悲しみを減らすために今から、そして未来を考えて生きて行く。備えあれば嬉しい。この町から、たくさん大切なことを教えてもらっています。(城戸)

訪問活動日

相馬フォロアーチームでは、カウンセラーが児童生徒の心のケア活動、教職員や保護者への相談活動を行っております。

場所	11月の訪問日等
中村二小	11月1,2,7,8,9,14,15,16,21,22,28,29,30日(月1回の世界の医療団派遣を含む)
中村二中	11月:1,8,10,15,17,22,24,29日
磯部小	11月:2,9,16,30日
磯部中	11月:7,14,21,28日



内容	11月の件数
アート・メゾンでの相談等	11月:26件
その他(関係機関との連携、訪問派遣等)	11月:8件

お問い合わせ

お子さまのことで、ご心配なことはありませんか？

相談室にて、無料の相談を承っております。下記までお気軽にご連絡ください。

〒976-0042

福島県相馬市中村2丁目2-15

LVMH子どもアート・メゾン



Tel: 0244-35-6200 / Fax: 0244-35-6215

Mail: sft@soma-ft.org

HP: <http://www.soma-ft.org/>